

令和元年度 美術科 2 学年 年間指導計画・評価計画

1、教科目標

「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。」

2、評価の観点及びその趣旨

【関心・意欲・態度】美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の技能を高めるために、主体的に学習に取り組もうとしている。

【発想・構想の能力】感性や想像力を働かせて、対象を深く見つめ、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に独創的で豊かな発想をし、形や色彩などの効果を生かし、心豊かで創造的な構想を練っている。

【創造的な技能】感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性を生かし、表現の意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考えたりするなどし、創意工夫して創造的に表している。

【鑑賞の能力】感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わったり、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化などについての理解や見方を深めたりしている。

3、第二学年の目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

4、指導計画・評価計画表

		観点・評価規準				
月	指導計画	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	評価方法
	スケッチマラソン (年間)	対象をよく観察し、正確に表現しようとする。	/	短時間で対象の形を捉えて描くことができる。	積み重ねた制作の過程を振り返り、作品のよさを感じ取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み姿勢</li> <li>・自己計画表</li> </ul>

4	モザイクコースター (4時間)	主題を基に、主体的に創造的な構成を工夫して構想を練ろうとしている。	想像力を働かせ、材料の形や配色の効果を生かし創造的な構成を工夫することができる。	材料の特性を理解し、表したいイメージを創意工夫して制作することができる。	それぞれの作品の特徴や配色の良さを味わうことができる。	・作品 ・振り返り、鑑賞シート
5 6	デッサン (3時間)	対象をよく観察し、正確に表現しようとする。		主題に沿い鉛筆のタッチを工夫し形や量感の表現ができる。	それぞれの作品の特徴や良さを味わうことができる。	
7 8	ポスターの制作 (5時間)	主題を基に、主体的に創造的な構成を工夫して構想を練ろうとしている。	主題を基に想像力を働かせ、形や色彩の効果を生かし創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。	表したいイメージを持ちながら自らの表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。	多くの作品を鑑賞し、よさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。	・授業の取り組み姿勢 ・自己計画表 ・作品 ・振り返り、鑑賞シート
9 10 11	革工芸 (12時間)	創造活動の喜びを味わい、身の回りの造形に関心をもち、主体的によさや美しさを感じ取ろうとしている。	材質を理解し、機能美を考えて美しく構成できる。	材料や用具の特性を生かし、制作順序を考え、見通しをもって創意工夫して制作することができる。	多くの作品を鑑賞し、良さや形の美しさを味わうことができる。	・授業の取り組み姿勢 ・自己計画表 ・作品 ・振り返り、鑑賞シート
12	鑑賞「ゴッホ」(1時間)	美術文化に関心をもち、よさや美しさを感じ取ろうとする。表現方法の特性などから制作の順序などを主体的に考え、表現しようとしている。	対象を深く見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、考えたことなどを基に、主題を生み出している。	感性や色彩感覚を働かせて、材料や用具の特性を生かし、制作順序を考え、見通しをもって創意工夫して制作することができる。	造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。	・授業の取り組み姿勢 ・振り返り、鑑賞シート
12 1 2	木彫 (10時間) 「木彫箱」	創造活動の喜びを味わい、身の回りの造形に関心をもち、主体的によさや美しさを感じ取ろうとしている。	材質を理解し、機能美を考えて美しく構成できる。	材料や用具の特性を生かし、制作順序を考え、見通しをもって創意工夫して制作することができる。	多くの作品を鑑賞し、良さや形の美しさを味わうことができる。	・授業の取り組み姿勢 ・自己計画表 ・作品 ・振り返り、鑑賞シート